

誤解－ハワイに来たら、シュノーケリングをしなければならない。

真実－水中に入っても入らなくても楽しめる事はたくさんあります。ですので、ハワイにいるからシュノーケリングに行かなくてはならない、と無理に思わないでください。水中世界を覗くのが目的であれば、一般的な水泳用ゴーグルで楽しめます。海況や天候が悪かったり、健康状態や体調がすぐれない、または単純に気乗りしない、ということであれば、シュノーケリングは控えましょう。

誤解－フルフェイス型のシュノーケルマスクより、昔ながらのマスクとシュノーケルのほうが安全だ。

真実－シュノーケリングによる水死事故は、フルフェイス型のマスクが登場する前から発生しています。ある種類のシュノーケル用具が危険だということを証明する証拠は現在のところありません。真実は、シュノーケリングは水泳より危険になりえる、ということなので注意しましょう！

原因は現在解明中ですが、要因としては、道具の不具合、疲労、酸素・二酸化炭素濃度の変化、健康状態、飛行による影響、その他などが挙げられます。

安全に シュノーケリング

(Snorkeling Safety)

海を安全に楽しむ方法と
ハワイのビーチに関する情報は
下記ウェブサイトからどうぞ。



HIOceanSafety.com

ハワイ州保健局からの
アドバイス



HAWAII
**DROWNING &
AQUATIC INJURY
PREVENTION**
ADVISORY COMMITTEE



シュノーケリングの 誤解と真実。

誤解－泳げなくてもシュノーケリング
はできる。

真実－泳げない人は一切シュノーケリングす
べきでない、というのが専門家の考えです。水中で
も不安なく、水泳用具の補助なしに泳げる人で
なければいけません。信頼のおけるボートツア
ー会社の多くは、泳げない乗客のシュノーケリ
ングを禁止しています。

誤解－シュノーケリングは簡単だ。

真実－シュノーケル用具での呼吸（細いチュー
ブまたはその他の形状を通した呼吸）は、水泳
よりも難しい場合があります。息切れ、疲労、め
まいが発生することがあります。こうした症状の
いずれかが現れたら、直ちに用具を外して水か
ら出ましょう。

ハワイ州を訪れる観光客の怪我によ
る死亡原因のトップは、長期にわたっ
てシュノーケリングとなっています。

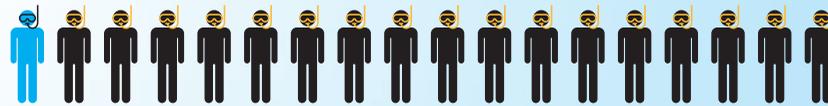


2008～2017年の水死事故
183件はシュノーケリング
中に発生しています。

93%

はハワイ州住民ではあ
りませんでした。

ハワイ州では毎年平均
18名がシュノーケリ
ングで死亡しています。

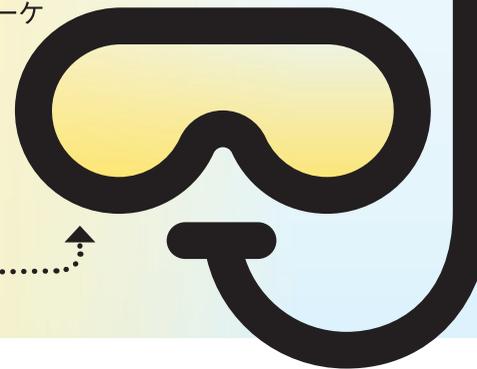


うち17名がハワイ州外
からの観光客です。

ハワイを訪れる観光客の死亡原因
は、交通事故、墜落事故、転倒事故、
殺人事件の合計よりも、シュノーケ
リングが上回っています。



VS.



できることはすべて行い 安全にシュノーケリングしましょう！

- ライフガードのいるビーチ
でシュノーケリングしましょう。
- 泳げない人は水に入らない
こと（浮き具をつけていても
シュノーケリングは控えまし
ょう）。
- パートナーに腕が届く範囲
で泳ぎ、お互いを頻繁に確
認し合しましょう。
- 安全標識と警告フラッグ（旗）
に従いましょう。
- 呼吸しやすく、水漏れせず、
簡単に外せる用具を使用し
ましょう。
- 水中に入る前に、用具を装
着して呼吸を練習し、用具
を速やかに外せるようになっ
ておきましょう。
- 水中に入ったら、ゆっくりと
呼吸し、落ち着いて動きまし
ょう。